



2024年4月30日

各 位

会社名	住友化学株式会社
代表者	代表取締役社長 岩田 圭一
(コード番号)	4005 東証プライム市場)
問合せ先	コーポレートコミュニケーション部長 小林 俊二
(TEL	03-5201-0200)

減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期連結会計期間(2024年1月1日～2024年3月31日)において、下記のとおり減損損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

当社及び当社の連結子会社において、一部の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失を計上することとなりました。

減損損失を認識した主要な項目は以下のとおりです。

① 医薬品における特許権及びのれん等

当社の連結子会社である住友ファーマ株式会社では、中期経営計画2027(2023～2027年度)での業績見直しに対して基幹3製品(進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「マイフェンブリー」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」)の売上収益の伸びが想定を下回っており、北米事業の事業予想を見直した結果、「マイフェンブリー」にかかる特許権の一部133,457百万円及びのれんの一部35,858百万円を減損することとなりました。また、rodatristat ethyl及びEPI-589(いずれもフェーズ2試験段階)等の開発品目の開発を中止したことにより、当該開発品に係る仕掛研究開発10,577百万円を減損するなど、総額180,857百万円の減損損失を計上いたします。

② 千葉工場エッセンシャルケミカルズ製造設備及び工場共用資産

当社は、事業環境の悪化による需要の低迷により収益性が低下した千葉工場におけるエッセンシャルケミカルズ製造設備及び工場共用資産について、収益予想の見直しを行いました。その結果、エッセンシャルケミカルズ製造設備及び工場共用資産の帳簿価額をそれぞれ回収可能価額9,036百万円、5,152百万円まで減損し、減損損失25,381百万円を計上する見込みです。また、個別財務諸表においては21,629百万円を特別損失として計上いたします。

③ シンガポールにおけるメタアクリル製造設備

当社の連結子会社であるスミトモ ケミカル アジア プライベート リミテッドは、事業環境の悪化による需要及び市況価格の低迷により収益性が低下したメタアクリル製造設備について、収益予想の見直しを行いました。その結果、帳簿価額を15,822百万円まで減損し、減損損失14,891百万円を計上する見込みです。

④ 愛媛工場における正極材焼成実証設備

当社は、愛媛工場における正極材焼成実証設備について、事業計画の見直しに伴い収益性の低下が見込まれることから減損テストを実施いたしました。収益予測の見直しを行った結果、帳簿価額全額を減損し、減損損失11,566百万円を計上する見込みです。また、個別財務諸表においては11,498百万円を特別損失として計上いたします。

2. 業績への影響

上記の減損損失については本日公表の「2024年3月期通期業績予想の修正、2025年3月期通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」に記載の2024年3月期通期連結業績予想に織り込んでおります。

以上